

## 2010 年代運動指針策定に伴うアンケート（集計結果）

<主旨>

人間力育成委員会では、下記のような意義と位置付けのもと、運動指針を策定してまいります。

本指針は、社団法人東入間青年会議所の 2020 年までの今後 10 年間の運動の方向性であり、いかなる運動展開を以って『理念』を達成するかという道程を指し示すものとして、メンバー一人ひとりの意識に定着し、『明るい豊かな社会』の実現を目指すものである。

つきましては、メンバーの皆様と共同作業でより良いものに仕上げたいと思います。可能な範囲で構いませんので、以下の設問にご回答頂きたいと思います。ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。（全て複数回答可、自由にご記入下さい）

### Q1：JCに入会して良かった事、悪かった事は何か？

【良かった事】・人脈が広まった

- ・仲間が増えた
- ・様々な経験が積めた
- ・東入間地域を愛し、本気でより良くしようと考えている人が大勢いる事を知ることができ、お互いに切磋琢磨する中で自分自身も成長できたし、地域愛もさらに増した
- ・個人ではなかなか難しいが、JC というネームバリューや信頼感のある組織に所属し活動することで、まちづくりに参画するチャンスを得た
- ・人の大切さを改めて学ぶことが出来た
- ・今まで知らなかった知識が大幅に付いた
- ・学生と違う様々な勉強が出来た
- ・いろいろな業種の人たちに出会えて、いろいろな話を聞ける
- ・社会人として自分自身が成長できた
- ・時間の使い方を学んだ
- ・事業を成しとげた時の達成感は何とも言えない
- ・多くの JC メンバーと交流することで、自分自身の視野が広まった
- ・社会貢献する事の楽しみや喜びを知った
- ・様々な活動を通して地域の方々との繋がりができたことで、自分が地域の一員であることや他者から必要とされていることを実感することができ、自分に自信を持つことができた

【悪かった事】・経済的な負担

- ・時間的拘束
- ・会議等が多く、家庭や会社にいる時間が少なくなった
- ・少なからず家族との時間を犠牲にしている
- ・JC に時間をとられて、今まで仲が良かった友達と疎遠になりつつある
- ・人数の割に事業が多く、負担が大きい
- ・仕事への支障が出てしまう事が辛い
- ・特になし

### Q2：家族や身边の方（地域の方）は JC に対してどのような印象を持っていますか？

- ・家族は経済的負担や時間的拘束について不満がある
- ・震災対応は素晴らしいと感心している
- ・地域の方は JC に対してあまり認識がない

- ・忙しい団体で、時間が取られるという印象
- ・飲み会などが多く、お金を出す機会が多いという印象
- ・地域のためにボランティア活動をしている良い団体
- ・ウォーキングや地域の活動など一定の理解は得ている
- ・良い印象を持っている
- ・特に悪い印象は抱いていない
- ・いつも外出している印象のため、あまり良い印象は持たれていない
- ・JCの活動内容に興味がある
- ・JCに対して期待が高いため、求められているものも大きい
- ・家族や社員は活動を理解してくれている
- ・子ども達は淋しい思いをしている
- ・JCは他の団体から良く思われていない気がする
- ・JCメンバーを良く思っている人が少ないのが現状です

**Q3: あなたが JC に求めている事 (JC で活動している目的) は何ですか?**

- ・仲間・一生涯の友人を増やす
- ・人脈を広げる (自分の為だけでなく、これからの LOM に対して還元できるような人脈をつくりたい)
- ・人生の師を探す
- ・様々な経験を積み、自分自身を成長させたい
- ・社会貢献
- ・1つの目標に全体がまとまって事業等を成功させる一体感を求めます
- ・勉強・ジャンルを問わず学びの場
- ・JC で多くの事を学び、今後の人生に生かす
- ・個人の資質向上・スキルアップ
- ・自分自身の改革
- ・人間力向上と交流拡大
- ・地域の皆様が求めていることに耳を傾けて、JC の良さを出して知名度をあげる
- ・他 LOM との交流をもっとつくりたい
- ・次世代を担う子ども達のためにより良い社会をつくる

**Q4: 地域が JC に求めている (期待している) 事は何だと思いますか?**

- ・社会 (地域) 貢献
- ・ボランティア等は当然のこと、地域の先駆者として、まちづくりの原動力を求めていると思う
- ・若者のリーダーシップ、元気、活力等のパワー
- ・こちらが一方向的に考えているだけで、ハッキリ言って求められている事は感じない
- ・義捐金活動や支援物資活動等は求められていると思う
- ・イベント的な事業の開催
- ・地域の住民の先頭にたつて、いろいろな事を地域の人たちに情報を提供していくこと
- ・地域の皆様が求めていることに耳を傾けて、JC の良さを出して知名度をあげる
- ・地域住民と交流する場を増やし、直の声が聞ける意見交換が必要では
- ・地域の方と一緒にボランティア活動やパトロール等をする
- ・地域でいろいろな活動をしている団体と協力し合って活動していく
- ・諸会議 (行政等) への参加や各啓発運動への協力

- ・ 有益な講演会やセミナー等の開催
- ・ 地域の様々な団体のまとめ役
- ・ 青少年の育成事業
- ・ 職業体験の機会の提供
- ・ 地域の活性化・PR
- ・ 地域のリーダーの育成
- ・ 地域の先生・地域の親父の役割
- ・ 再び合併運動

**Q5:あなたが経験したJCの過去の事業で良かった(印象深い)ものは何ですか? その理由もお聞かせ下さい。**

【事業】 まちの応援事業・絵画展・サッカー大会・震災支援

【理由】 社会(地域)貢献とともに子ども達の育成につながる意義深い事業だから

【事業】 事業ではないが、エリアレッドソフトボール大会への参加

【理由】 ・ あれぞ1つにまとまった成果が出た、私には忘れもしない仮入会中の事業でした  
・ 自分が活躍できた場

【事業】 新入会員向け研修会

【理由】 勉強になった

【事業】 5月例会(2011年度)

【理由】 初めて自分で担当した例会だったから

【事業】 吉田元気村(2009年度青少年事業)

【理由】 青少年教育の大切さをとても考えさせられる事業でした。個人的にゴールはとても感動しました

【事業】 自転車でGO

【理由】 自転車という身近な乗り物で子ども達と地域の散策と歴史を勉強できシンプルに楽しかった

【事業】 夜回り先生講演会

【理由】 内容的にも有意義な講演会で多くの地域住民に参加していただき、少なからずJCのPRもできた

【事業】 富士見市長選挙 公開討論会(2008年度)

【理由】 当時、私は右も左もわからない新入会員でしたが、担当副理事長・室長・委員長・そして会員研修委員会メンバー一丸となって、ビラ配りをしました。決して楽しい事ではなかったですが、その時副理事長・室長・委員長に「これを、あそこのマンションにポスティングしてこい!」と言われて、一心不乱にポスティングした事を思い出します。終わった後、みんなでご飯を食べたりお酒を飲みに行って、その場でいろいろな話で熱く語り合ったのがとても印象に残っています

【事業】 こころの探検ウォーク

【理由】 内容的に充実していて、メンバーも子ども達もボランティアスタッフも共に成長できる事業

【事業】 メイン事業

【理由】 LOMメンバー全員でやる事業だから

【事業】ウォーキングキャンプ

【理由】心に残った

【事業】セミナー・講演会

【理由】自分磨きの場

【事業】子どもフェス・祭り

【理由】家族で楽しめた

【事業】ムーンライトウォーク

【理由】東入間の多くの方が参加し、絆づくりの一環として良かった

【事業】2007年度メイン事業・2003年度会員大会主管・二市二町合併運動

【理由】LOM全体で一体感があった事業であった

**Q6: 今後も是非続けたい事業、新たに行いたい事業は何ですか？**

- ・まちの応援事業
- ・絵画展
- ・サッカー大会
- ・震災支援
- ・防災事業（災害に強い東入間を目指して、ハザードマップ作成・周知等を行う）
- ・東入間ファミリーコンサート
- ・子ども達（未来のJC入会者）と一緒に出来る事業（親等も含めてやればJCのPRになる）
- ・地域の子ども達を連れてキャンプなど（未来の地域を担う子ども達と触れ合う事が大事）
- ・自然探検クラブ
- ・新たに国内の自然豊かな地域のLOMと姉妹提携し、お互いの地域の子ども達を行き来させたり、お互いの特産品を広めたり、合同事業を行ったりして親睦を深め、災害が起こったときなどの有事の時にはお互いに助け合えるような体制をつくっておく
- ・地域の魅力（歴史・自然・文化・特産品等）を再発見し、地域内外に広く発信するような事業
- ・豊かな自然や生態系を維持するような事業（ホテル等がたくさん生息できるように）
- ・三富の循環型農業の素晴らしさを発信する事業（世界の貧困国を救う、環境にも良い、東入間をPR）
- ・HDSS事業
- ・PCセミナー
- ・部会対応ではなく、LOM事業として『まちのお祭り』に参加
- ・ウォーキング事業
- ・東入間マラソン
- ・メイン事業（形はどうあれ同じ事を続けないと地域に根付く事は難しい）
- ・メイン事業でJC主催のお祭り
- ・(対外的な事業ならば) B級グルメ
- ・(対内的な事業ならば) 自分達のスキルアップの為の研修系事業を増やしてJCの価値をあげるような事業
- ・セミナー・講演会
- ・エリアレッド野球大会
- ・スポーツイベント（大人用）

- ・地域のお祭りへの参加
- ・ご当地アイドルプロデュース（新人発掘オーディション）
- ・東入間 JC キャラクター創出（川越 JC の時の鐘マンのような）
- ・まちづくり事業
- ・ゴミ拾い
- ・夜回り（パトロール）
- ・あいさつ運動
- ・市民交流会（地域の様々な団体との交流）
- ・婚活（合コン・お見合いパーティー）

**Q7: 東入間地域の魅力は何だと思いますか？また、10年後の東入間地域はどのようになっていると思いますか？**

**【東入間地域の魅力】**

- ・首都近郊にありながら豊かな自然が残っている
- ・自然と都市部のバランスが良い
- ・都心に近い
- ・駅前の再開発等で街と田畑の差がはっきり分かれてると思う
- ・人と緑の共存
- ・緑豊かな所
- ・災害に強い
- ・若い層が多い
- ・自然、文化、風土全てにおいて歴史ある地だと思う
- ・LOM メンバーの人柄
- ・昔から受け継がれている「まち」と新しく区画整理された「まち」があり、バランスが保たれている「まち」として魅力的であると思う
- ・二市一町という一つの行政ではないので、魅力を語ることは難しい
- ・この地域は、正直特色が薄いと感じます。これといった特産品があるわけでもなく、山や海が近くにある自然に囲まれたといわれる地域でもありません。生活していく上で不便な土地ではない（どちらかと言えば便利）のですが、これからこの地域のシンボル（特産）と成りえるものを模索していかなければならないと思う
- ・いろんな団体があって、手を組み合えばすばらしい事業が出来ると思う。やはり交流ではないでしょうか
- ・比較的温かい人が多く、ボランティア精神のある人が多いと思う
- ・今はまだ探し中です

**【10年後の東入間地域】**

- ・大きく変わっていないと思う
- ・10年後も変化のない東入間であって欲しいと願います
- ・一つに合併している
- ・良い意味で変化無し
- ・これからこの地域のシンボル（特産）と成りえるものを模索していかなければ、10年後も今と大して変わらず発展が見込まれない地域のままだと思う
- ・人口の増加も落ち着いている
- ・魅力がないとすたれていく
- ・10年後は自慢の地元になってます
- ・少子高齢化が進み財政的にも厳しいと思うが、今よりも多くの方が当たり前のようにボランティアとし

て活動しお互いに助け合う、結を感じられるより良い地域になっていることを望みます

- ・災害に強く、都心に近くて便利で、都市部と田園部・風の人と土の人がバランスよく調和した、日本一住みやすく人気のあるベッドタウンになっている

**Q 8 : 今後東入間地域のシンボルとなるようなものや事業について何か案はありますか？（例：ウォーク事業）**

- ・東京から近い事をもっと前面に出す事業
- ・東入間にはまだまだ私達の知らない歴史があると思う。それを調べてシンボルとなるような事業をしたい
- ・HDSS 事業
- ・東入間マラソン
- ・東入間スポーツ大会（例えば野球であれば、小学校の部、中学校の部、高校生の部、一般の部と、一つのスポーツに対して各部に分かれて大会を行う）
- ・魅力をつくるのが JC の役目だと思う。そのためにシンボリックな事業は大事だと思う。B 級グルメを行って東入間地域を一つにしたい
- ・今年度から行う東入間フェスタ（最初は少ない来場者かもしれないが、10 年 20 年と続けて地域の一大事業となるようなフェスタにしていける事を願います）
- ・ウォーク事業（続けてきたことは大事、東入間の顔にしないと逆にダメだと思う）
- ・ウォーク事業で東入間の有名な場所等をまわる
- ・例えばゴミ拾いなど、小さな事を毎月一回、毎週一回とか続けて行う
- ・メイン事業みたいに年一回でも大きな事業をし、とにかく人を集めなければシンボルに繋がらないと思う
- ・母の日・父の日・敬老の日・子どもの日等に何かできたらいいと思う
- ・シンボルとなる事業は合併運動
- ・三富の地割・循環型農業（農産物等へのブランド力の付加と観光客誘致への活用のために、『世界農業遺産』認定を目指す）

**Q 9 : LOM の存続・発展の為には会員拡大は必須ですが、何か有効な方策はありますか？**

- ・社会（地域）貢献の積み重ねと、こまめな勧誘
- ・単純ですが、一人ひとりが声を掛けることが必要。基本からやり直せば必ず道は開かれる
- ・年会費を下げる
- ・有効な方策はありますが、弊害となるものが多すぎるような気がします。厳しい意見になりますが、「他人任せ」がなくなる限り、本当に残念ですがどんな方策を持っていても結果が出ないと思います。
- ・まずは魅力がなければ入会しません。入会しているメンバーのスキルがなければ入会する意味がないのです。対外的な魅力ある事業プラス LOM メンバーのスキルアップ
- ・対象者を誘うタイミング・対象者の状況（会社の経営状況・家族の理解）を親身に理解する
- ・地道な勧誘活動・細かい情報の収集と発信・会員研修委員会の上役の新入会員への配慮（新入会員の悩みを聞く相談相手になったり、なるべく早い段階に仲間意識を植え付けること）
- ・みんなで動き、LOM 全体の気持ちを上げていく（10 年後、20 年後の事を考えればおのずと分かること）
- ・広報 PR を強化し、LOM の存在を知ってもらうこと
- ・JC の事業に気軽に参加できるものをつくる
- ・JC はハードルが高い、大変だというイメージを払拭するため、また JC の魅力を広く伝えるためにも、JC についてメンバー全員がしっかりと説明できるようにしておく（拡大会議での研修や拡大マニュアルの作成）
- ・地道な地域貢献活動を継続し、多くの地域住民を巻き込むような事業も継続して、JC のファンや協力者を増やしていく。そうすれば、会員拡大とともに賛助会員の増加にも繋がり、協賛金収入が増えれば

ンバーの年会費の値下げも可能になり、会員拡大もしやすくなる

- ・会員拡大を頑張りたいけど、仕事や日常生活においてなかなか出会いが少ない、一人で拡大活動をする勇気がない、といったようなメンバーも多いと思う。なので、毎月一回会員拡大デーのような日を設けて駅頭等での募金活動と共に JC の PR をしたり、二人一組となって飛び込み営業的に多くの事業所を回ったりするような、メンバー全体での取り組みも有効だと思う。
- ・ LOM の活動を知っていただくのが第一
- ・年間最低一人が一人を拡大する
- ・個人一人ひとりの自覚。まず JC が楽しくなければ、楽しくしなければ拡大はない

**Q 10 : LOM の組織活性化・秩序維持・有効且つ効率的運営等の観点から LOM の改革案は何かありますか？**

- ・更なる会議、手続きの効率化
- ・まだまだ一つの目標を達成するために全体のまとまりが弱い気がする、一人ひとりの意識改革が必要
- ・「理事メンバーの責任と覚悟」につきると思います。どんな組織であっても、必ず腐る時は上から腐ります。 LOM に改革が必要だと思うのであれば、その原因は必ず上、つまり理事にあるのでは？
- ・会員研修委員会のあり方。新入会員が必ず会員研修委員会に入会するのではなく、誘った人が所属する委員会に入会でき、新入会員向けの研修を会員研修委員会が行う（セレモニー関係から JC に関すること）
- ・組織活性化に関して： LOM メンバー全体の東入間青年会議所に対する意識の向上、一体感を高める、メンバーの JC に対する気持ちの温度差を減らす  
秩序維持に関して：理事や役を受けたメンバーはしっかりフォロワーメンバーに理事や役職としての恥ずかしくない背中や行動を見せる。 JC は単年度制なので、その年その年は与えられたポジションに徹する。（過去に理事をやっていたとしても、フォロワーメンバーに戻ったら 1 メンバーとして委員長を支える）組織として、理事は役職を受けている人間として偉いと思います。そういう意味での縦軸はしっかり教えなければいけないと思う。下の者が、上の人間に雑用などをお願いするようなことはあってはならないと考えます
- ・良くも悪くも人数を増加させる、拡大は急務
- ・今年度のメイン事業でより多くの人を集め、まずは JC を知ってもらい、 JC の事業を楽しみにしている人をつくるために、メイン事業の成功、土台をしっかりと作ることが大切
- ・正直、部会の必要性があまりわかりません
- ・組織活性化の為には、無論会員拡大は必須であり、そしてなるべく多くのメンバーに理事を経験してもらうように理事の固定化も防がなければならない。そして、理事以外のメンバーにもしっかりと役割と権限を与えて、自覚と責任を持ってしっかりと活動し成果をあげさせられるような環境作りが大切
- ・秩序維持の為には、全メンバーが LOM のルールを理解して、オンとオフをしっかりと切り替えられるように実践しなければならない。決して『なかよしくラブ』にはなって欲しくない
- ・有効且つ効率的な運営の為には、会議等においてまずは時間を厳守すること、そして会議に臨む際には準備をしっかりとて中身の濃い会議とすること、そして会議以外でも各自出来ることを考えて実施し、メールや電話でのやり取りを密にすることで会議の回数自体を減らす努力も必要
- ・会議が多すぎる。無駄な予算も多い。委員会事業等は予算を使わないで行うかわりに上程は不要等の改革が必要だと思う

以上です。ご協力誠にありがとうございました。